

【特集】インターネット・SNSのトラブル事例に学ぶ

～子どもを被害者にも加害者にもしないために～

インターネットや SNS (LINE・Instagram・TikTok・ゲームのチャットなど) は、勉強や連絡、情報収集など、とても便利なものです。しかし、使い方を間違えると、大きなトラブルにつながる可能性があります。

本文は6月22日(月)に4・5・6年生を対象に開催した「情報モラル教室」における、滋賀県警生活安全部サイバー犯罪対策課警部補の講演をもとに再編しています。

夏休みを目前に控え、インターネットを利用する機会が増える時期でもあります。ぜひ、ご家庭でもお子さんと一緒に安全な利用方法についてお話しください。



1. 軽い気持ちの投稿が……



友だちと撮った写真。SNS に投稿したけれど、そこには学校や名前が分かる情報も含まれていた。慌てて削除したけれど……

- ・誰かが保存している
- ・スクリーンショットを撮られている
- ・他の人が転載している

などの場合があり、完全に消すことは難しくなります。

また、制服、家の周りの景色、学校名、持ち物などから個人情報が知られてしまうこともあります。

✓ 写真を投稿するときは、
「知らない人に見られても大丈夫か？」
考えるクセをつけましょう！

2. ネット上で出会って仲良くなることもあるけれど……



ある日突然「私、あなたの友だちの友だち、Bだよ。」というメッセージとBとされる顔写真が送られてきました。「あなたの写真も送って。」と言われ、送り返しました。会話が弾んで楽しかったので、たくさんやりとりをするようになり、いつしか人には言えない悩みも話すようになりました。すると相手は急変し、「秘密をばらされたくなければ、裸の写真を送れ! 名前も顔も住所も知っているぞ!」と脅してきました。相手は全く知らないおじさんでした。

✓ 個人情報や水着で隠れる部分の写真は絶対に送れません。撮りません。

3. スマホ・ゲームの使いすぎに注意！



Cさんは無料ゲームをしていたのですが、「あと少しでクリアできる、対戦相手に勝つために強い武器を」という気持ちから、「1回だけ」と親にだまって課金をしてしまいました。ところが「もう1回だけ」を繰り返すうちに……。結果、高額な請求になってしまいました。

他にも、動画サイトやゲームは面白く、気づくと長時間利用しています。すると寝不足で朝起きられない、授業中に眠くなる、学習に集中できないなど、生活のリズムが乱れてしまうこともあります。

- ✓ インターネットを安全に利用するために、親子で相談しながらルールを作りましょう。（ルールの例：右下）

4. 悪口や脅し、うその情報を書き込まない！



むしゃくしゃして、「〇〇へ帰り道に待ち伏せしてぶっ飛ばす」と書き込んだら警察に通報がいき……

SNSでは相手の顔が見えないために普段なら言わないような悪口を書いてしまうことがあります。

しかし、悪口、仲間外し、うその情報、加工した写真などを投稿すると相手を傷つけるだけでなく、侮辱罪、名誉棄損罪、脅迫罪などの犯罪になることもあります。

- ✓ 悪質な書き込み等、犯罪につながりかねないケースでは、小学生でも聞き取りを受ける可能性があります。

最後に。保護者の皆様へ

子どもたちは大人が思っている以上にインターネットやSNSを身近に利用しています。

安全に利用するために

- 利用のルールを親子で決める。
 - フィルタリングやペアレンタルコントロールを利用する。
 - 日ごろから困ったことを話せる家庭環境をつくる。
- ことが大切です。

✓ ご家庭で決めたいルール（例）

- 利用時間を決める。
（例：1日1時間まで）
 - 夜〇時以降は使わない。
 - 食事中・寝室では使わない。
 - 課金は必ず保護者に相談する。
 - 知らない人とはやり取りしない。
 - 困ったときは必ず大人に相談する。
- ★親子で相談しながら決めたルールは、守りやすくなります。

インターネットは「正しく使えば便利で楽しい道具」です。
ご家庭と学校が協力して、お子さんを安全に見守っていきましょう。